

S派? それともG派?

5年生から、君の『医師キャリア形成』は始まっている!!!

キャリアの軌跡

Vol.62

5年生から後期研修を見越した初期研修を考えましょう!!! キャリア形成がぐっとスムーズになります。Dr. 浜田が解説します!!!!

どうして、初期研修について5年生から考えた方が有利なんですか？



Dr. 浜田



ご存知の様に2018年より専門医制度が大きく変わります。制度変更を良く理解しなければ、将来のキャリア形成が遅れたり、不利になったりすることが生じるからです。

初期研修の臨み方は大きく2つ。
「S派で攻める」
もしくは「G派に挑む」

詳しく説明していきましょう！

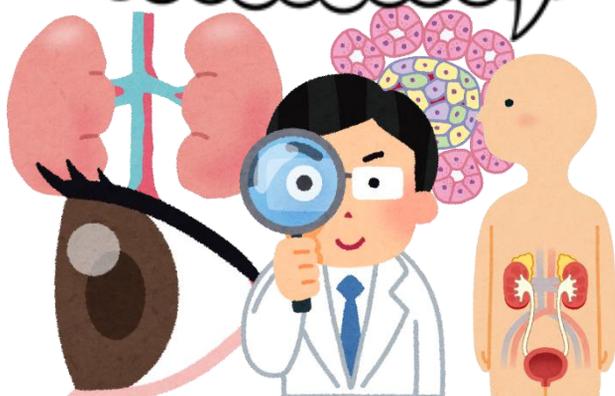


S派とは
スペシャリスト研修派のこと



将来の診療科をほぼ決めていて、それに関連した診療科を中心にローテーションする。

G派とは
ジェネラリスト研修派のこと



将来の診療科とは関係なく、幅広い診療科をローテーションする。



効率よくキャリアを積む「S派」

3つの
メリット

1. 早く症例が集まる。
2. 医療人としての専門知識が深まる。
3. キャリアプランがはっきりしているので、各科をまわる時に目標ができる。

研修開始当初から消化器内科を志望して、S派で研修していました。そのため2年間で**内視鏡を十分に経験でき、研修終盤にはESDをする機会をいただけるほど成長できました！** 研修時代を振り返ると、1年目で内科6カ月などのノルマを達成させ、2年目は好きな分野を思う存分やったという感じです。S派的にローテートを考える際は、**2年間の経験を将来にどう活かしていくかを特にこだわって**考えましょう。



消化器内科 (医師3年目)
田島 和昌先生

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	神経 ● 内科2カ月		外科	精神	血液 ● 内科2カ月		消化器 ● 内科2カ月		救急 ● 救急2カ月		地域 研修	救急
2年次	リウマチ ● 内視鏡が使えることが リウマチでも役に立つ！		消化器		循環器 ● 腹部のCTなど 消化器メインで		放射線	病理 ● 消化器外科手術の 標本を中心に見る	糖尿		消化器 ● 「将来、患者さんの血糖 管理もするぞ」と臨む。	

G派の先輩に聞こう！



麻酔科 (医師3年目)
金子 翔平先生

全体を見渡せる目を養う「G派」

3つの
メリット

1. 効率よく診療手技・知識が身につく。
2. 医療人としての裾野が広がる。
3. 人脈が広がる。

僕は1年目後半で麻酔科への入局をほぼ決めており、さらに将来は麻酔科の中でもICUに進みたいと考えていました。ICUはどの診療科からも依頼があるので、どの分野にも精通している必要があることもG派で研修した理由です。**研修医時代は色々な診療科を見ることができ、将来に繋がる人脈を作ることにもできる“チャンスが多い期間”**です。**挑戦したいことに挑戦できる環境を最大限に活用してください！**



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	呼吸器 ● 内科2カ月		麻酔		循環器 ● 内科2カ月		腎臓	地域 研修	麻酔	ICU	救急 ● 救急2カ月	
2年次	外科		整形		内科 ● 内科2カ月		小児科		放射線	内科 ● 苦手分野、膠原病を あえて研修！		

医療教育開発センター指導医
松島 加代子 先生より

さあ！ あなたは、S派 vs G派どちらでしたか？

「そんなの決められないよ～」という人も、大丈夫。環境によって患者さんによって、将来もスイッチしていくんだと思います。将来の医師像としては、S派plus G派ができれば理想ですよ～♪ 上の二人を見てもお分かりのとおり、S派も一科集中でローテしているわけではありませんよね？ 私は今のうちにより多彩な領域を経験することをオススメします。ただし、初期研修は2年間しかない。

かといって多く回ろうとして、1カ月ずつローテしても、知識や経験が自分のものになる前に終わってしまうことが多いです。「全科を追うものは一科も得ず」の法則です。困ったら医療教育開発センターに気軽に相談してね。

自分の専門領域以外を、しかもスペシャリストのもとで勉強するチャンスはなかなかないので、実は贅沢な環境なのです!! あなたの将来に合ったプランと一緒に考えましょう。



S派もG派も
ウェルカム♪